

『流山市民の歌』

作詞：岩谷時子 作・編曲：いずみたく

- 1 風わたる 川辺を行けば
うつりゆく 季節の香り
朝ごとに 富士を眺めて
今日もまた 胸に太陽
ああ流山 光の街
若い希望が 生まれるように

- 2 青空が ここにはあると
書きそえる 友への便り
さわやかな 愛をひろげて
いつの日も 人は暮らすよ
ああ流山 ころろの街
窓に明るい 花咲くように

- 3 木はみどり 大地はゆたか
夢さそう 小鳥の歌よ
将来（あした）へと 歴史をつなぐ
すこやかな いのち守ろう
ああ流山 羽ばたく街
森で子供が ほほえむように



「流山市民の歌の生い立ち」

いつでも、どこでも、誰でも気楽に歌える歌を・・・と、市民から歌詞やイメージを募集。市制施行15周年を記念して昭和57年（1982）1月15日の流山市成人式で発表されました。作詞は岩谷時子、作曲・編曲はいずみたく。当時「夜明けの歌」などのヒット曲をもつ、大人気のお二人です。歌はデュークエイセスが歌っています。

平成25年（2013）、流山ロータリクラブが創立50周年記念事業として、流山おおたかの森駅前広場に歌碑と音声再生装置を寄贈しました。同年4月に歌碑除幕式が、同年10月に音声再生装置の寄贈式が行われました。